



令和6年第3回市議会定例会

飯塚市議会

市民と議員の定期的な意見交換会を求める請願

(要旨)

市民と議員が直接、対話や質問をするための定期的な意見交換会の開催を求めます。

(理由)

これまで市の議会のことなど全く関心がなかった私ですが、今年3月に飯塚市役所本庁7階にある議場を初めて訪れました。そのキッカケは、顛田子育て支援センターの移設がスムーズに進んでいなかったことにあります。

そして、議場で、賛成・反対の立場は違っても、子育て支援センターを運営する人、利用するお母さん、お父さん、そして子どものために、真剣に言葉を届けようとする議員、議論する議員の姿に、心が震えました。

私のように、今回の件を通して、困っている人たちに寄り添って、問題解決に向けて真剣に考える、そんな議員の姿に初めて触れた人もいます。議員という人たちは、市民の話を聞いてくれる存在なのだ、と。そして、一緒に考えてくれる人たちなのだ、と、そう気付いた人もいます。

一方で残念に思うのは、市民は議員の人たちのことをあまりにも知らないという現状です。議員と触れ合う機会は限られ、気軽に質問をすることもできません。多くのすばらしい議員が飯塚市にいるのに、それを知らないままでは、とてももったいないことです。

だからこそ、議員の方々には、もっと市民の前に出てきてほしい。飯塚市が抱える様々な問題についての議員の考え、意思・真実を、議員の本当の姿を伝えてほしい。そして、市民の話を聴いてほしい。質問に応えてほしい。つまり、対話の場を作ってほしいのです。

不確かであやふやな世間を打ち壊して、本当の世界を開いていくのは、互いの対話です。対話から生まれるのは信頼です。信頼から生まれるのは仲間です。仲間が集まって初めてみんなのまちが生まれます。だからまちづくりの最初の一步は、対話なのです。

それが、「市民と議員の定期的な意見交換会を求める請願」に込めた本意であります。「定期的に」開催することで、市民と議員の間につながりが生まれ、より良いま

ちづくりを行うための基礎ができていくと考えるからです。定期的な意見交換会が実現できることを求めます。

令和6年9月4日

飯塚市議会議長 江 口 徹 様

請願者

[Redacted Name and Address]

紹介議員

金 子 加 代